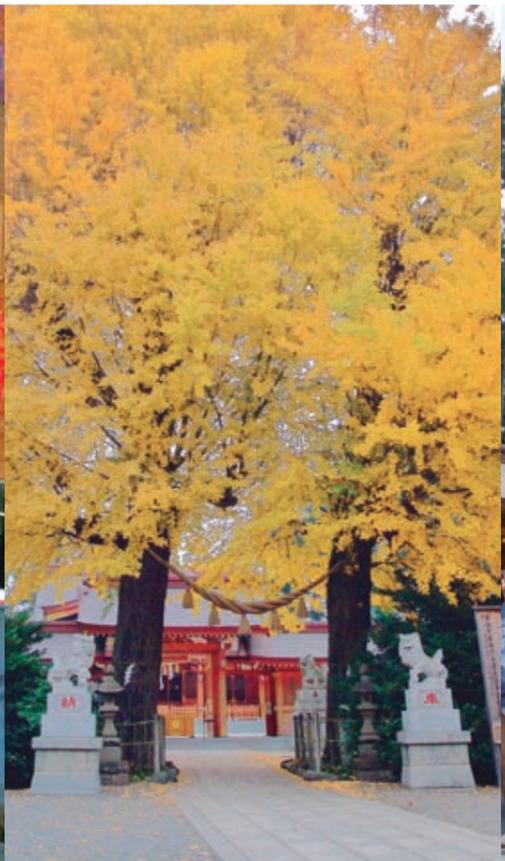




北相模総守護社  
**亀ヶ池・幡宮**  
<http://www.kamegaike.jp/>

No.21  
 平成28年7月



**神社！  
豆知識**

**正式参拝** 正式参拝とは、広くは昇殿参拝を意味し、拜殿の中に上がって玉串を奉奠しお参りすることです。通常の一般祈祷とは違い、個人や団体としてそれぞれ参拝する旨を神様にお伝えする昇殿参拝のことです。ここでは平成27年4月から平成28年5月末日まで当八幡宮に正式参拝をされた各種団体等をご紹介します。皆様におかれましては、ようこそご参拝でした。



平成27年5月20日  
 埼玉県 武蔵一宮氷川神社敬神婦人会70名



平成27年5月16日  
 神奈川県神社庁神道章修得講座ボーイスカウト18名



平成27年4月30日  
 神奈川県神社庁庁長・鶴岡八幡宮 吉田宮司



平成27年9月3日  
 埼玉県神社庁北足立支部・北足立郡市連合神社氏子総代会46名



平成27年7月16日  
 東京都 板橋区神社連合総代会115名



平成27年6月2日  
 東京都 荻窪八幡神社 小俣宮司ご一行15名



平成28年1月10日  
 埼玉県 元郷氷川神社奉賛会80名



平成27年11月24日  
 新潟県 新潟縣護國神社ご一行3名



平成27年10月25日  
 埼玉県神社庁・比企郡市連合神社総代会菅谷支部35名



平成28年5月24日  
 山口県 龜山八幡宮 竹中宮司ご一行4名



平成28年2月11日  
 静岡県 三ヶ日六区氏子総代会13名



平成28年1月13日  
 東京都 井草八幡宮 宮崎宮司ご一行60名

**ご案内**

**平成二十八年例大祭斎行**  
 ご創建以来連綿と絶えることなく斎行されている当八幡宮の例大祭を、左記の通り執り行いますので、お気軽にご参拝ご観覧下さいますようお願いいたします。  
 日時：平成二十八年九月十八日(日)  
 例大祭(御社殿)……午前10時斎行  
 ●奉納剣道(境内)……午後一時  
 ●神代神楽(神楽殿)……午後三時  
 ●余興(神楽殿)……午後六時  
 ●お囃子(囃子やぐら)……終日(適宜)

**七五三祝児無事成長祈願祭**  
 七五三祝は、古くは平安時代より公家の間で行われ、江戸時代に入り庶民に広まったものです。当八幡宮では、十月初旬頃より十一月末までお子様の健やかな成長を願って七五三祈願祭を斎行いたします。なお、すこやかハック(貸衣装・美容・着付・写真)の展示予約会を行います。ご祈祷同様ご希望の方は当八幡宮社務所へお問い合せ下さい。

●ご祈祷・すこやかハックの予約受付……八月より  
 ●ご祈祷時期……十月より十一月末  
 ●すこやかハック試着予約会日程  
 8月27日・28日  
 9月3日・4日・10日・11日・17日・19日・22日・24日・25日  
 10月1日・2日・8日・9日・10日

**平成二十九年新年祈願祭受付**  
 「二年の計は元旦にあり」人は皆新年を迎えると、希望や夢をふくらませ、神社に初詣されています。  
 当八幡宮では、無料大駐車場を完備し、初詣の皆様をお迎えしています。  
 家内安全・厄除け・商売繁盛・交通安全等のご祈祷予約を十一月より受け付けいたしますので、当八幡宮社務所へご連絡下さい。



立夏を迎えた五月十五日の空は快晴、照る陽光は初夏を思わせるお天気の中、一心泣き相撲第六回「亀ヶ池場所」が開催されました。

赤ちゃんの生気溢れる泣き声で邪気を退散し、神様へお子様の無事成長を願う神事である「一心泣き相撲」。毎年大変好評を頂いております催し事で、今年は百八十余名の赤ちゃんが参加し、約九十組もの取り組みが行われ、過去最多の参加規模となりました。

鮮やかな化粧まわしと、ご家族が真心込めて名付けました四股名を掲げ、可愛らしい赤ちゃん力士達が御神前にてお祓いを受けられた後、次々と土俵入りをしていきます。

ご家族が見守る中、行司の「はっけよい、のこった、のこった」の合図で取り組みが始まります。思い思いに泣き声を張り上げる赤ちゃんとご家族の声援で、境内は終始賑わいを見せておりました。泣き相撲の後は、四股奉納行事「力足」「手形伸び太鼓」「手形押し」等、お子様の成長を心から願うイベントが行われ、今年の一心泣き相撲も盛會裡の中、幕を下ろしました。

# 一心泣き相撲

第六回  
「亀ヶ池場所」  
開催

# 節分祭齋行 一厄を祓って清々と



澄み渡る晴天に恵まれた今年の2月3日、当八幡宮では毎年恒例の節分祭が齋行されました。

今日では、今年一年の安泰を祈願し、厄落としを行う行事として知られている節分ですが、本来は農作業の大切な時期に鬼や邪気を祓い豊作の無事を祈るという古くから伝わる伝統行事です。

まず御神前で福男福女が厄除けの祈願を受けられ、続く追儺の儀によって、竹の棒で丸太を叩き大きな音を出して鬼の邪気を退散させます。

御神前での厳かな祭典から舞台を神楽殿に移し、舞台上より「福は内!鬼は外!」の掛け声で活気溢れる豆撒き神事が執り行われました。

福を授かるとうとする参拝者で神楽殿前は人集りが出来、節分祭の賑わいを一層晴れやかなものに彩りました。多くの福物を御協賛下さいました氏子崇敬者の皆様に篤く御礼申し上げます。

深々と夜も更け、行く年来る年に思いを馳せる初詣の人々で賑わう境内に、新年を祝う大太鼓の荘厳な音が響き渡り、平成二十八年の幕開けを告げました。

清々しい初日の出のもと新年を迎えた市内外の沢山の氏子崇敬者の表情も至極喜びに湧き、晴れやかにお詣り下さいました。

また平成二十六年に竣工した檜の香豊かな御社殿御神門は新春の陽光を浴びその輝く様は、大神様の漲る御神威を映しているかのように神々しく、参拝者皆様をお迎えいたしました。

御神前では、先ゆき不透明な経済状況を反映し社運隆昌・商売繁盛また少子高齢化の中、家族の絆を深められるよう内安全や今年一年災いがなく過ごせるよう厄難消除等の昇殿参拝をする老若男女が多く見受けられました。

平成二十八年  
丙申年  
初詣賑わう御社頭  
ご利益満願



# 五部會御神輿大改修竣工 亀ヶ池八幡宮大前にて奉告祭



6月5日大安吉日、五部會御神輿大改修竣工奉告祭が齋行されました。五部會は氏子上溝内の田中・本久・元町の地区で結成された消防団を元とし、3地区自治会の神輿・山車連合組織として現在まで名称が引き継がれています。上溝夏祭り(おてんのうさま)で担がれる神輿のなかで最も古いとされており、この度34年振りに大改修が施され、この日初めて新しい姿が披露されました。

前日より降り続く雨も開式時刻前には上がり、内庭にて百人を超える参列者の下、根岸宮司を齋主として竣工奉告祭が厳修されました。祭典には五部會関係の方を始め、来賓として東日本鉄道文化財団関係者・地元自治会長・国会議員等の方々も参列し、玉串を奉奠されました。

続いて参集殿二階大広間にて祝賀会が催され、盛大にこの竣工をお祝いしました。

その後、田中・本久・元町地区を奉祝渡御し、神輿がもまれる勇壮な様子に駆けつけた多くの地域住民の歓声とともに、氏子地域は大変な賑わいを見せました。

尚、改修竣工なった神輿が渡御する上溝夏祭りは7月23日(土・宵宮)、24日(日・本宮)に齋行されます。



# 相模原市氏子総代会第二回管内神社視察研修 淵野辺 日枝神社正式参拝



相模原市氏子総代会の第二回管内神社視察研修が去る二月二十二日、総代・神職合わせて六十余名参加のもとで実施されました。

今回の視察研修は淵野辺本町に鎮座する日枝神社を正式参拝いたしました。日枝神社は当八幡宮の奉務神社となっております。正式参拝を執り行った後は根岸宮司による挨拶、また日枝神社天野総代長による神社沿革や淵野辺の歴史について、また平成二十五年の御社殿等改修工事に関する資料をプロジェクトリーダーを使ってご説明頂きました。



# 神奈川県神社庁相模原支部 深志神社参拝研修旅行

去る四月十九日から二十日にかけて、神奈川県神社庁相模原支部主催深志神社正式参拝 松本城・浅間温泉研修」が実施されました。当八幡宮より根岸宮司を始め四名が参加しました。

この研修は相模原支部の恒例事業であり、県外の神社を正式参拝し、相模原市内の神社の運営の一助に資することを目的に毎年実施されています。

今回は長野県松本市に鎮座している深志神社を正式参拝いたしました。深志神社は信州の天神様として崇められている由緒ある神社で、傘禮禰宜様には丁寧にご説明頂きました。

その後は国宝松本城・松本市立博物館などを見学し、夕刻は浅間温泉にて日頃の疲れを癒やしました。

翌朝は長野県安曇野市に鎮座する穂高神社を参拝したのち、上田市に移動し今話題の上田真田丸大河ドラマ館を見学して無事帰りました。

